

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

2023年1月19日(木)15:30~17:00 懇談会

1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長)—

2. ニュースリリース

●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 園田 直子 (議長)—

3. 特別展「ラテンアメリカの民衆芸術」

[詳しくはこちら](#)

あふれる色とはじける形、ラテンアメリカの民衆芸術の展覧会です。古代文明の遺物から現代アートまでいろいろな作品を一挙に展示。先コロンブス時代以来の文化混淆の歴史、芸術として洗練されていった過程、そして現代の制作者の批判精神に焦点をあてながら、多様な民衆芸術が存在する理由を考えます。

会 期：2023年3月9日(木)～5月30日(火)

会 場：国立民族学博物館 特別展示館

観覧料：一般 880 円 (600 円)、
大学生 450 円 (250 円)、高校生以下 無料

※ () は 20 名以上の団体料金、

リピーターは団体料金を適用

※本館展示もご覧いただけます



木彫 (ヤギのナワル) メキシコ合衆国 (写真：六田知弘、六田春彦)

— 鈴木 紀 (学術資源研究開発センター 教授) —

4. 新任紹介

専門はフランス文学、中東地域文学。『千一夜物語』のフランス語訳を出版したエジプト出身のJ.-C. マルドリュス、及びフランス象徴派の文学と音楽の関係についての研究を行っている。主な共編著に Catalogue du fonds Joseph-Charles Mardrus, traducteur des Mille Nuits et Une Nuit, 共訳書に『アラブ音楽』(S. ジャルジー著) など。



— 岡本 尚子 (人間文化研究創発センター研究員・

国立民族学博物館 グローバル地中海地域研究拠点 特任助教) —

京都大学大学院で博士号を取得後、京都大学アフリカ地域研究資料センター機関研究員を経て現職。専門はアフリカ地域研究、文化人類学。インド洋に浮かぶモザンビーク島という小さな島で、ゴシップが飛びかう濃密な近所づきあいのなか女性たちがいかに共在するのかをテーマに研究している。



— 松井 梓 (人間文化研究創発センター研究員・

国立民族学博物館 環インド洋地域研究拠点 特任助教) —

専門は文化人類学、生態人類学、映像人類学、オセアニア地域研究。パプアニューギニアの島嶼域をフィールドワークし、交易や贈与に関する研究をしている。映像制作会社で民俗映画やテレビ番組の制作に携わった経験から、今後文化遺産の映像化にも取り組む予定。



— 門馬 一平 (人間文化研究創発センター研究員・

国立民族学博物館 海域アジア・オセアニア研究拠点 特任助教) —

※その他の配布資料 外国人研究員受入一覧(資料3)、外来研究員受入一覧(資料4)



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報・IR係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp